

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年3月31日(月)17現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

3月31日(火)発表

- 31日(火)現在、サンパウロ州内の感染者は前日比43%増の2339人、死亡者は前日比23人増(一日当たりでは過去最大)の136人となった。今回、新たにカンピーナス市、サント・アンドレー市、サン・カエターノ・ド・スル市、カエイラス市で死者が確認された。死者23人の内訳は、女性が13人(年齢は42, 54, 69, 85, 86, 76, 72, 64, 81, 65, 65, 68, 68)、男性が10人(年齢は43, 66, 79, 86, 89, 68, 90, 83, 78, 63)。うち、42歳と54歳の女性、43歳の男性は合併症を患っていた。
- 州政府は、300のサンタ・カーザ病院及び州内の市立病院に1億レアルの供与を決定(7月31日まで)。
- 4月1日(水)より、100以上の州内公立病院で遠隔診療を開始。クリニカス病院及びIncor(サンパウロ大学付属心臓研究所)の専門家がリアルタイムで各病院の診療を支援(特に重症患者対象)。また、同大学工学部の研究チームがコロナウイルス患者向けに安価かつ早く製造可能な人工心肺装置を開発。市場で一般に販売されている装置は約1万5千レアル/台だが、同チームによる装置の製造コストは約1千レアル。
- サンパウロ州交通社(Artesp)及び州交通ロジスティック局は、7月30日まで、州道(料金所、重量測定所、燃料スタンド等)において、トラック運転手に14万個の食料キットを配布すると発表。
- サンパウロ交通公社(SPTrans)は、4月1日(水)より、需要の高い路線を中心に、50台以上のバスを追加運行させると発表。これにより、平日の運行本数は通常時の41.35%を確保。
- 31日(火)より、サンパウロ市社会開発支援局(SMADS)は、市内4カ所(サン・ベント広場、パティオ・ド・コレジオ、セー広場、サン・フランシスコ広場)で、路上生活者に衛生用品キットの配布を開始。2019年の調査によると、市内の路上生活者数は2万4344人を数える。
- SABESP(サンパウロ水道供給公社)は、3月27日(金)よりサンパウロ市パライズポリス地区で開始した水タンクの配給を、貯水タンクのない他の地区にも行うと発表。

(了)